


安全データシート

改訂日:2022年4月1日

1. 製品及び会社情報	
化学品の名称	p-アミノ安息香酸エチル
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	AA0637
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	
健康に対する有害性	皮膚感作性:区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分1(血液) 特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(血液)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性):区分3 水生環境有害性 長期(慢性):区分3
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 血液の障害 長期にわたるまたは反復ばく露による血液の障害 水生生物に有害 長期的影響により水生生物に有害
注意書き	【安全対策】 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 適切な保護手袋を着用すること。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後は手をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 環境への放出を避けること。 【応急措置】 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激または発疹が生じた場合:医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 ばく露した場合:医師に連絡すること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 漏出物を回収すること。 【保管】 容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。 【廃棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	p-アミノ安息香酸エチル
別名	p-アミノ安息香酸エチルエステル、4-アミノベンゼンカルボン酸エチル、ベンゾカイン
化学式	$H_2NC_6H_4COOC_2H_5$
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 94-09-7
含有量	99%以上
官報公示整理番号(化審法/安衛法)	(3)-1443 / 公表
4. 応急措置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師の診断を受けること。

飲込んだ場合	口をすすぐこと。 直ちに医師の診断を受けること。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
特有の危険有害性	加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。
特有の消火方法	火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	安全に対処できるならば着火源を除去すること。 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 全ての着火源を取り除く。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	取扱う作業場に、適切な洗眼器と安全シャワーを設置する。
安全取扱注意事項	取扱いについては、局所排気装置または全体換気装置を使用する。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 適切な保護手袋を着用すること。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策	取扱い後は手をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。
容器包装材料	国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	結晶又は結晶性粉末
色	白色
臭い	無臭
融点/凝固点	92 °C
沸点又は初留点及び沸点範囲	310 °C
燃焼性	可燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし
引火点	112 °C
自然発火温度	該当情報なし
分解温度	該当情報なし
pH	該当情報なし
動粘性率(粘度)	該当情報なし
溶解度	水に難溶(1g/約2.5L)。希塩酸に可溶。エタノール、エーテル、クロロホルムに易溶。
n-オクタノール/水分分配係数	log Kow = 1.86
蒸気圧	0.0659 mmHg (25 °C)

密度及び/又は相対密度	該当情報なし
相対ガス密度	該当情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	該当情報なし
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常取り扱いに於て安定である。
危険有害反応可能性	該当情報なし。
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	酸、塩基、酸化剤、還元剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物
11. 有害性情報	
急性毒性	経口：ラットLD ₅₀ 値：3042mg/kg(PATTY(5th, 2001))に基づき、JIS分類基準の区分外とした。
	経皮：データなし。
	吸入：データなし。 (粉塵)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	データなし。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器：データなし。 皮膚：モルモットを用いたマキシマイゼーション試験およびビューラー試験を含む複数の試験において、本物質が感受性を有することが示されている(CECTOC TR 77(1999))。かつて、西欧や北米で本物質はヒトにおける感受率が4~5%で最も頻繁に接触する感作物質の一つであると認識されていた(CECTOC TR 77(1999))。本物質は医薬品としても内服または外用使用されており、一般的に報告されている副作用として過敏症(発疹、掻痒等)の記載(医療用医薬品集(2010))があり、ヒトにおける皮膚感作物質であるとの結論(CECTOC TR 77(1999))に基づき区分1とした。
生殖細胞変異原性	データなし。
発がん性	データなし。
生殖毒性	データ不足。ヒトで、出生時欠損と母親の本物質使用との間に関連は見出せなかったとの情報(PATTY(5th, 2001))があるが詳細は不明である。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	本物質は医薬品の局所麻酔剤や鎮痛剤として使用されているが、本剤の治療用量でヘモグロビン血症を起こした症例報告が複数ある(PATTY(5th, 2001))。また、本剤の医薬品添付文書には内服した場合の副作用として血液(メトヘモグロビン血症)が記載されている(医療用医薬品集(2010)、HSDB(2005))。以上の知見に基づき区分1(血液)とした。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	本剤の医薬品添付文書には内服した場合の副作用として血液(メトヘモグロビン血症)が記載されている(医療用医薬品集(財団法人 日本医薬品情報センター)(2010)、HSDB(2005))ことに基づき区分1(血液)とした。
誤えん有害性	データなし。
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期：魚類(ファットヘッドミノー)96時間LC50=35.4mg/L(EPA ACQUIRE: 2018, (急性) Geiger, D.L. et al. (1985))であることから、区分3とした。 長期：慢性毒性データが得られていない。急速分解性がなく、急性毒性区分3で(慢性)あることから、区分3とした。
残留性・分解性	該当情報なし。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国連番号	3077
品名(国連輸送名)	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S
国連分類	9
副次危険性	—
容器等級	III
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送
海上輸送
航空輸送
応急措置指針番号

消防法の規定に従う。
船舶安全法の規定に従う。
航空法の規定に従う。
171

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)
毒物及び劇物取締法
消防法
労働安全衛生法

指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物に該当しない。
危険物に該当しない。
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物〔パラ-アミノ安息香酸エチルエステル〕[施行令別表9]
(2025年(令和7年4月1日)以降)
危険性又は有害性を調査すべき物〔パラ-アミノ安息香酸エチルエステル〕
(2025年(令和7年4月1日)以降)
有害性物質
その他の有害物件

船舶安全法
航空法

16. その他の情報

参考文献

NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)
16615の化学商品(化学工業日報社)
職場のあんぜんサイト(厚労省HP)
NITE-GHS分類結果(製品評価技術基盤機構HP)
Merck Index 14th.
The Sigma-Aldrich Library of REGULATORY and Safety Data
The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。